

九条の会

2005・4・14

第 34 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

未来に生きる若者だから 9 条守りたい

「平和のつくりかた」作りました

【兵庫・西宮市 A 小学校】 「九条の会の方々へ、ぜひ読んで下さい」と書いた手紙が事務所によせられました。

「私たち 6 年 3 組は、約 1 年かけて『平和のつくりかた』の本をつくりました。一人でも多くの人に、戦争は最悪の解決方法だってわかってほしいと思います。大人が、戦争を決めているけれど、この本は私たち子どもの気持ちです。戦争で解決するということが一番良くないやり方だっていう…。『武器をなくし、戦争もなくそう』という願いは、世界中みんな一緒だと思います。この本は、世界中が戦争をしないように一生懸命考えて書いた本です。地球は、平和がいいに決まっています。平和なら人は悲しみません。」と書いてあります。B5 版 22 頁の色鉛筆で着色した小冊子をひらくと…。

「日本国憲法『9 条』が教えてくれたこと」の項では、文部省発行「新しい憲法のはなし」を一部引用したあと、「平和の『平』はたいら、『和』はなごやかなの意味です。だから、何も争いのないように、平らで和やかな国を作りたいです。でも、日本国憲法

に『武器はもたない』と書いてあるのに、武器を作っている会社があるなんて信じられません。憲法をつくっても、約束を守らないのなら、憲法の意味がありません。『戦争をしないように』と憲法はつくられました。憲法を守ることを忘れてしまった人もいます。」

文化祭でシール投票しました

【長野県・佐久市・B 中学校】 先月(04 年 11 月)24、25 日に私達 B 中学の文化祭が行われました。生徒会展示では、戦争についての全校、そして地域の方々の意見を聞くためにシール投票を行いました。そのシール投票のきっかけとなったのが、ジャーナリスト安田純平さんの生徒講演会でした。

その講演会を受け、このままではいけない、私達に何かできることはないだろうか、たくさんの B 中生徒が感想記入用紙にいっぱい思いを書きました。それを見て生徒会では、国会議員の方々やマスコミ、戦争反対の運動をしている団体などへ「戦争には絶対反対」という B 中生徒の思いをシール投票の結果という形でお送りしようと計画を立てました。そして文化祭当日、一

人一票ボードにシールを貼ってもらいました。たくさんの方の協力をいただきましたが、その日見学に来ていた近くにある小学校の6年生が遊び感覚でシール投票を行ってしまい、B中の生徒、保護者の投票の正確な結果を出すことはできませんでした。

しかし私達B中生徒は今も、これからもこの世の中が平和であってほしいと強く願っています。私達にできることということでこのようなものを送らせて頂きました。みなさんの報道や活動にこの浅間中の思いがお役に立つことができたら光栄です。(B中生徒会長からの手紙)

【平和が大切シール投票の結果】

①戦争しないと決めた憲法9条を変えることについて

賛成	生徒 44人	大人 7人
反対	515人	56人

②日本が他国の戦争に参加することについて

賛成	生徒 49人	大人 1人
反対	517人	72人

どんな理由でも戦争はだめ！

【京都・高校生】 昨年8月に京都市内のC高校で全校アンケートがとりくまれました。その中で、「憲法9条は改正すべきではない」という回答が75%という結果になりました。

また、公立高校合格発表がおこなわれた今年3月、いくつかの高校門前でおこなわれたシール投票には180人がこたえ、「9条を変えたらだめ」に90%が投票するとともに、何人かが「戦争はどんな理由をつけてもだめだ」とコメントしています。

京都の青年グループが取り組んでいる

日本の外交政策転換させたい

【アメリカ留学生】 先日、私が滞在しているアメリカ・カンザス州・ウィチタ市で、日本人11人の方々を集めて、憲法9条に対する議論を行いました。そこで出たもっとも多かった意見は、「9条が現状に矛盾している」というものでした。しかし、9条に対して矛盾したことが行われてきたというのが私の認識です。

私は、ただ呆然と新聞、テレビ、雑誌、世間を見て、悲しみ、怒りを感じているだけというはやめたいと思います。ご了解いただければ、ウィチタ9条の会となるグループを発足させ、8月14日に駐米日本大使館前で、憲法9条改正反対というデモを行いたいと思います。日本大使館前でデモを行うのは、Following Policyという追従政策をやめて、Foreign Policyという本当の外交政策をもつていただきたいと願っているからです。

今のところ参加者は13人ほどですが、本当の世界平和をきずくには、その象徴である9条を守るのに国籍は関係ないと思います。ワシントンにある反戦団体の方々にも協力をよびかけたいと思います。

「青年憲法メッセージ運動にすでに約300人のメッセージが寄せられています。そこには、「憲法についてもっと詳しく勉強したい」「世界の動きと憲法を知りたい」という声があげられています。

こうした活動や声を背景に、高校生の中にも「九条の会」をつくる動きが始まっています。